



県議会

とちぎ自民党議員会報 vol.7

平成30年度の当初予算編成にあたり、とちぎ自民党議員会では、138項目に及ぶ政策・予算要望書を作成し、栃木県知事に提出しました。

その結果、平成30年度当初予算8,034億円(うち自民党上乗せ21億8,450万円)の成立を実現しました。私たちが重点的に取り組んだ事業の一部をご報告申し上げます。

「本物の出会い 栃木」 デスティネーションキャンペーン が本番を迎えます

来る4月から6月にかけて、全国JRグループと協働で取り組む「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン(DC)がいよいよ本番を迎えます。

県内各市町においても、様々な特別企画やイベントが開催されることになっています。

そこで我が会派では、これまでの観光政策の成果と課題を踏まえながら、万全の準備で臨むために、「DC推進事業費」1億2,200万円余(うち自民党上乗せ2千万円)の予算化を実現しました。

栃木県の魅力を国内外に強力に発信していく絶好の機会です。

アフターDCさらにその先を見据え、DCの成功に向けて全力で取り組んで参ります。



力強い農業の実現に向けて 園芸生産を強化します

本県農業の成長産業化を進めるためには、農産物の競争力を強化していかなければなりません。

そこで我が会派では、新年度「とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費」1億1,993万1千円(うち自民党上乗せ1,500万円)、「園芸大国とちぎづくり推進事業費」15億385万7千円(うち自民党上乗せ9,700万円)の予算化を実現し、事業内容を大きく充実させることができました。

この事業により、施設園芸の高度化や水田を活かした露地野菜の生産拡大、加工・業務用野菜の産地育成等、園芸生産の拡大につなげていきたいと考えています。

加えて、積極的なPR活動等によりブランド価値の向上を図り、海外への輸出拡大や、新たに設置する大阪センターを活用した関西圏・西日本への販路開拓に挑戦していきます。



■ニラの収穫

交通事故の抑止に全力を挙げます

交通事故のない社会は県民みんなの願いであり、その実現に全力で取り組んでいかなくてはなりません。

そのためには、警察官の増員や交通安全協会等の民間団体・個人の協力を得ていくことに加え、交通事故抑止効果が実証されている道路標識・標示の高輝度化や、老朽化した道路標識・標示の更新、信号機の新設・改良など、交通安全施設の計画的な整備を推進していくことが必要です。

そこで我が会派では、新年度「交通安全施設整備費」17億4,140万2千円(うち自民党上乗せ4億円)の予算化を実現し、道路標識・標示の新設・更新と高輝度化をスピードアップして進めていくことができました。

ソフト・ハード両面からの取り組みを強化し、交通事故抑止に努めてまいります。



■通常の横断歩道(雨天時) ■高輝度化横断歩道(雨天時)

私たちは、「実行力」。

安全・安心な日常生活を確保するために社会資本の整備を進めます

県民の生活や経済活動の基盤となる道路・河川等の社会資本整備を推進することは、私たちが安全で安心な日常生活を送る上での最重要課題です。

これら社会資本整備に必要な事業費を当初予算において確保していくため、我が会派では、舗装の長寿命化や身近な道路整備等の「県単公共事業費」138億4,300万円(うち自民党上乗せ10億円)のほか、円滑に事業を執行していくための「公共事業関連調査費」3億円(うち自民党上乗せ3億円)の予算化を実現しました。

さらに、自然の猛威から県民の生命・財産を守るため、河川・砂防施設整備等の防災対策や、被害の軽減を目的とした堆積土・立竹木除去等の減災対策に取り組むため、「緊急防災・減災事業費」10億円も予算化しています。

安全・安心かつ快適な、そして経済活動の活性化につながる社会資本整備の推進に全力で取り組みます。



■一級河川 小敷川(鹿沼市)

野生鳥獣による被害を食い止めるために新組織を設置します

イノシシやシカをはじめとする獣害が深刻化・広域化し、農業の生産現場からの悲痛な声が数多く寄せられています。

有害鳥獣の捕獲強化は待たなしであり、被害を軽減していくためのあらゆる対策を講じていかなければなりません。

そこで我が会派では、新年度、「地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費」2億5,180万9千円(うち自民党上乗せ3,100万円)の予算化を実現し、事業内容を充実させました。

さらには、獣害対策に県庁が一体となって取り組んでいくために、新年度は環境森林部に「野生鳥獣対策班」という新たな組織を設置します。

シカ・イノシシの個体数半減に向け、市町や関係団体と協力しながら、有害捕獲従事者への支援を拡充、被害防除、環境整備等の対策を進めてまいります。



■獣害対策のための柵を設置

栃木県独自の少人数教育を進めます

児童生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導を行っていくために、県では加配教員による少人数指導と少人数学級を組み合わせた本県独自の少人数教育を進めています。

現在は、小学校1年生～3年生、中学校全学年において35人学級を実施しています。我が会派ではこれまでも、この少人数学級を未実施の他の学年にも拡大していくことを要望してきました。そして、新年度は、小学校4年生においても35人学級を導入することになりました。

学校現場では、学力向上やいじめ・不登校対策等、様々な課題への対応が求められており、加配教員をもっと増員してほしいという声も上がっています。

本県の宝である子どもたちが、将来への目標を持ち、健やかに成長していける環境づくりに全力で取り組んで参ります。



栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

とちぎ自民党議員会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22
(自民党栃木県連)
TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
(とちぎ自民党議員会)
TEL.028-623-3708 FAX.028-623-3725

●とちぎ自民党ホームページ▶▶ とちぎ自民党

検索

本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から忌憚のない声をお寄せいただきまますよう、お願い申し上げます。